No.42



歲時記

-Memory's-



山の木々の中をくぐり抜けてきたそよ風に ゆ~らゆら 嶺から降りてきた透明の風に す~うすう フウセンカズラは 気持ちよさそうに目を閉じ 涼しそうに 揺れてます

真夏の午後のティータイム 目にも心にも涼をたくさん分けてもらってます… (Peace)

ひばあちゃん ばあちゃん # しゅっぱ~つ!!」 # 「浩惺君先頭に 出発GO!GO!J 「トンボさん # みんなを乗せてくれて ありがとう」 っかりつかまっていてね~)

あったかい

ほのぼの一家を